

社会的ニーズに応じた高校，学科の在り方

(1) 普通系学科・総合学科・専門学科の方向性

全学科共通の課題と今後の方向性

1 課題認識

- ・ 生徒の学力の向上や進路の実現に向けた取組をさらに充実させていく必要がある。
- ・ 地域産業を担う人材を育成するため、地域の大学や関係機関、企業と連携し、教育課程や教員が学ぶ機会の充実を図る必要がある。
- ・ 生徒の多様な個性や特性に対応した教育の実践を進める必要がある。
- ・ グローバル社会の進展を踏まえ、国際的なコミュニケーション能力、課題解決能力の育成など、社会の変化に応じた教育内容を強化することが求められている。

2 今後の方向性

- 将来の社会的・職業的な自立を視野に入れたキャリア教育の一層の推進
- 「志教育」をより一層推進するとともに、コミュニケーション能力や能動的に人との関係を築いていく力、さらには協調性、柔軟性など、人と関わる力を育成
- ふるさと宮城の伝統や文化についての学習に取り組むとともに、世界の多様な文化を尊重することができる態度や資質を育成
- 「主体的・対話的で深い学び」、「ICTの活用」による教育の推進
- 地域の教育資源や学校外における様々な学習の機会を有効に活用した地域社会や企業等との一層の連携推進
- 生徒と企業、大学など双方のニーズに対応した継続的なインターンシップなどの取組の充実

専門学科共通の課題と今後の方向性

1 課題認識

- ・ 社会のニーズに応じた基礎的・実践的な職業教育をより充実する必要がある。
- ・ 宮城県の産業と連動した教育課程の充実とともに、生徒、保護者及び企業が求める資質や能力に対応できる教育課程の構築が求められている。
- ・ 多様な進路希望に配慮し、柔軟な科目選択への対応が必要である。
- ・ 地域の企業や関係機関、大学と連携した体験的な活動を通じて、職業に対する意識を育む必要がある。

2 今後の方向性

- 実践的教育等を通じた明確な職業観・勤労観の育成
- 地域産業への興味・関心を高める教育内容の充実や指導方法の改善
- 課題解決能力及び将来の職業人として活躍できる力の育成
- 各専門分野における基礎・基本を重視し、学習の選択幅を拡大した教育内容の一層の充実
- 地域の企業や関係機関、大学・研究機関等とのパートナーシップの確立

○：「目指す人づくりの方向性」に関する項目

●：「目指す学校づくりの方向性」に関する項目

学科ごとの課題と今後の方向性

1 普通系学科

(1) 課題認識

- ・ 生徒の学習ニーズや進路目標に応じた適正な選択科目の配置の充実を図る必要がある。
- ・ 生徒の主体的な学習を促すガイダンス機能の充実や、進路希望に応じた選択幅の広い教育課程と指導の一層の充実を図る必要がある。
- ・ 基礎基本の充実とともに発展的な学習などを取り入れた教育課程を編成し、将来の科学技術イノベーションを担う人づくりを推進する必要がある。

(2) 今後の方向性

- ・ 基礎的・基本的な学力定着の一層の推進
- ・ 大学等進学志望者に対応した発展的な学習を通じた学力及び進学率の向上
- ・ 基礎・基本の徹底した習得や、特定分野に卓越した優れた能力の一層の伸長を目指す学習など特色を生かした教育課程の編成と教育内容の充実

2 総合学科

(1) 課題認識

- ・ 生徒の能力・適性、興味・関心、多様な進路志望に対応した系列・選択科目となるような検討が必要である。
- ・ 生徒一人一人が明確な目的意識を持って、進路希望等に応じた学習が可能になるよう、支援体制の充実が必要である。
- ・ 生徒が目的意識や進路への自覚を持てるよう、中長期の職業体験的な活動に取り組む必要がある。

(2) 今後の方向性

- ・ 進路希望等に対応した学習指導及び将来の社会的・職業的な自立を視野に入れた教育活動の充実
- ・ ガイダンス機能の一層の充実
- ・ 社会の変化や生徒のニーズなどに応じた系列の見直し

3 農業科

(1) 課題認識

- ・ 県の農業政策を踏まえた学科の編成及び学習内容の充実が求められている。
- ・ 将来の農業技術イノベーションを担う人づくりを行う必要がある。
- ・ 多様な進路に対応した農業教育の在り方を検討する必要がある。

(2) 今後の方向性

- ・ 進路、地域のニーズや特性、資格取得等に対応した教育内容の充実
- ・ 自立した営農や多角化経営を踏まえた教育内容の充実
- ・ GAP (Good Agricultural Practice) 認証取得に向けた取組の推進
- ・ 地域の関連企業や農家・農業大学校・大学・研究機関等との連携した取組の推進

4 工業科

(1) 課題認識

- ・ 県のものづくり産業と連動した学習内容の充実が求められている。
- ・ 将来の科学技術イノベーションを担う人づくりを行う必要がある。
- ・ 環境の保全や資源のリサイクル，クリーンエネルギーの利用など，安全性を確保し地球との共生を図る環境技術が求められている。

(2) 今後の方向性

- ・ ものづくり全般に関わる基盤技術の習得に対応した教育内容の一層の充実
- ・ マルチメディア，高度情報通信技術，製造技術のシステム化等の技術革新，製造業の国際的な展開に対応した外国語による会話力や技術文書の理解力，環境問題に対応した教育内容の充実
- ・ 地域産業構造を捉えた成長産業分野の学習内容の充実

5 商業科

(1) 課題認識

- ・ 地域や地元企業等と連携した地域振興の観点を盛り込んだ学びが求められている。
- ・ 流通システムの合理化や新たなビジネスの創造など経済のグローバル化への対応が求められている。

(2) 今後の方向性

- ・ ビジネスの基礎・基本についての学習内容の充実
- ・ 情報化の進展に対応し，販売・会計等の経営活動に関わる情報の分析と活用に関する学習内容の充実
- ・ 地域プロデュースやマーケティングを通じた教育内容の充実

6 水産科

(1) 課題認識

- ・ 県の水産業政策を踏まえた学習内容の充実が求められている。
- ・ 地域や産業界の要請に応え，かつ水産や海洋に興味を持つ生徒が増えるよう教育内容を充実させる必要がある。
- ・ 水産業や海洋関連産業と広域的に連携した教育の一層の展開を図る必要がある。

(2) 今後の方向性

- ・ より付加価値の高い水産加工食品製造に関する教育の推進
- ・ 水産や海洋を幅広く捉えた学習の中から，新たな技術の開発や商品開発等に興味・関心を持たせるための教育内容の充実
- ・ 新たな生徒募集方法や学科体制を含めた学科活力の向上

7 家庭科，看護科，福祉科

(1) 課題認識

(家庭科)

- ・ 衣食住やヒューマンサービスの各分野における動向を踏まえた教育内容の見直しが必要である。

(看護科)

- ・ 高齢化の進展と疾病構造の変化に的確に対応できる人材の育成が必要である。

(福祉科)

- ・ 高齢者や障害者等へのよりきめ細かな介護サービスを提供できる専門的な知識や技術を有する人材の育成が必要である。

(2) 今後の方向性

(家庭科)

- ・ 生活関連産業の高度化，消費者ニーズの多様化等社会の動向に対応した教育内容の充実

(看護科)

- ・ 在宅医療及び看護に対する社会的要請が増大していることに対応した教育内容の充実

(福祉科)

- ・ 社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得，社会福祉の理念と意義の理解，社会福祉の増進に寄与する能力と態度の育成に関する教育体制の充実

(看護科・福祉科共通)

- ・ それぞれの専門分野における基礎的・基本的な学びを充実し，幅広く人材を育成